

また、博物館学芸員資格取得者には次表の研修旅行を実施した。

日程	9・21～24	研修地	大分県、佐賀県、福岡県 両子寺、富貴寺、真木大堂、安 心院、大分県立歴史博物館、宇 佐神宮、臼杵大仏、吉野ヶ里公 園、佐賀県立九州陶磁文化館、 佐賀県立名護屋城博物館、九州 国立博物館、太宰府天満宮	参加 人数	69名	引率者	増田勝彦 渡辺伸夫 武田昭子
----	---------	-----	---	----------	-----	-----	----------------------

#### (5) 秋桜祭参加報告

平成十六年度「秋桜祭」(十一月十三・十四日)に、本学科は考古学研究会(顧問・小泉玲子助教授)が「黒曜石の世界」というテーマで参加し、黒曜石に関する展示と、発掘調査の報告を行なった。また、民俗学研究会(渡辺伸夫教授・大谷津早苗助教授担当)では「福島県大沼郡三島町の年中行事」というテーマで、今まで行なってきた調査・研究の成果を展示・発表した。「日本建築史演習」(平井聖教授担当)では「江戸城の本丸御殿」をテーマに、実物大の松の廊下の一部や模型などの展示を行った。

#### (6) 平成十七年度特殊研究講座

本学では、学問の系統ごとに、学外の著名な講師を招いて講演していただく「特殊研究講座」を開催している。

平成十七年度の文化史系の特殊研究講座は次の通りである。

村田六郎太氏(千葉市立加曾利貝塚博物館副館長)

「史跡加曾利貝塚と博物館の活動」 6月8日(水)

須藤功氏(民俗学写真家)

「写真で綴る日本人の暮らし―昭和30年代の農山村―」 11月30日(水)

#### 光葉博物館だより

##### 平成十六年度展覧会

- 「光葉博物館収蔵授業資料展 ―宮廷装束を中心として―」
- 「アンデス 祈りの布」
- 「昭和女子大学オープンカレッジ作品展フラワーデザイン講座  
フラワーデザインの歴史をいける⑥ 現代 パート2」
- 収蔵資料展「アジアの仮面」
- 「人見東明とフェウザン絵画運動―萬鉄五郎を中心として―」
- 収蔵資料展「日本張り子めぐり」
- 「卒業制作展2004」

〈平成十七年度展覧会予定〉

- 「光葉博物館収蔵授業資料展2005 宮廷装束を中心として」  
4月2日～4月22日
- 春の特別展「風を彩る うちわと扇子」 5月14日～6月25日
- 館務実習生企画展「大切なもの —あなたのタカラモノ— だ  
れかのタカラモノ—」  
7月12日～7月30日
- 秋の特別展「江戸の武家屋敷」(仮称)  
1 泥絵に描かれた大名屋敷 10月26日～11月19日  
2 江戸城大奥を建てる 11月30日～12月17日
- 短大館務実習生企画による収蔵資料展「インドネシアの民俗」  
平成18年1月11日～1月25日(予定)
- 「昭和女子大学オープンカレッジ作品展フラワーデザイン講座」  
平成18年2月2日～2月4日
- 「卒業制作展2005」 平成18年2月末～3月初(予定)
- ※休館日は展覧会ごとによる。通常は土・日・祝・長期休暇など  
大学が定める休日。  
<http://www.swu.ac.jp/museum/>  
(学芸員 有路素子記)

文化史学会だより

〈文化史学会第十三回大会報告〉

平成十六年七月三日(土)午後一時三十分より、昭和女子大学研

究館七階視聴覚教室において、当学会の第十三回大会を開催した。

プログラムは次の通りであった。

大会講演 灰野 昭郎(昭和女子大学教授)

「菊の意匠は鎌倉時代の硯箱にすべて含まれて  
いた」

調査報告 早勢 加菜、江川 真澄(昭和女子大学大学院生)

「中屋敷遺跡第6次発掘調査報告」

半田 素子(昭和女子大学大学院生)

「北部ベトナム・ムオン民族古墓出土陶磁器の  
様相」

古幡 昇子(昭和女子大学大学院生)

「伊豆山常行堂旧蔵の阿弥陀三体 —平安時代  
と鎌倉時代の作例調査報告—」

研究発表 内田 啓一(昭和女子大学助教授)

「興正菩薩觀尊画像 —室泉寺本を中心に—」

菊池 誠一(昭和女子大学助教授)

「ベトナム胡朝城の研究」

懇親会 研究館五階ロビーにて

〈文化史学会第十四回大会報告〉

平成十六年十一月二七日(土)午後一時三十分より、昭和女子大  
学80年館六階オーロラホールにおいて、当学会の第十四回大会を開